

事業所名

えまろじょん

保育所等訪問支援 支援プログラム

作成日

7 年

3 月

15 日

法人（事業所）理念		学校での学習や周囲との関わりに困り感をもつ子どもたちが、将来、社会の中で安心して生活できることを目指します。			
支援方針		子どもたちの表面上のあらわれから背景を読み取り、１人１人に適切な支援を行う。			
営業時間		平日 (月～金)	園や学校の時間に準じる	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	表情、身体を目視による身体的な健康確認と、短いコミュニケーションによる心の状態の把握し、家族と共有する。			
	運動・感覚	細かな観察により、粗大・微細運動において苦手な部分を家族や児童発達支援・放課後等デイサービスと共有し、適切な支援につなげる。			
	認知・行動	園や学校で認知の偏りなどが見られた場合は、事実を家族や児童発達支援・放課後等デイサービスと共有し、適切な支援につなげる。 良い行動については強みとして家族と共有する。			
	言語 コミュニケーション	場面場面でどのような言葉を使って伝えるか、声のトーンはどれくらいかなど、発達段階に応じて子どもに伝えることで、コミュニケーション力の向上を図る。			
	人間関係 社会性	友達と関わる場面で必要に応じて介入をし、適切な関わりを構築できるように支援する。また、家庭でも練習ができるように情報を共有する。			
家族支援		連絡機能を使い、それぞれの保護者の個別の要望・相談に対応できるようにしている。 子どもの強みは強みとして、苦手なことは苦手なこととして伝え、苦手な部分には家庭と協力して向上を図る関係性の構築に努めている。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行について相談・情報の提供を行なっている。	
地域支援・地域連携		通っている学校や病院などと情報や方針などの共有をすることで、子どもたちのよりよい利益になるようにしている。	職員の質の向上	ミーティングにおいて情報共有をしながら、ケーススタディを行い、支援の仕方を学んでいる。	
主な行事等		園や学校に準じる。			